

日中国交正常化45周年記念に係る中国中山市訪問報告書（所感）

長崎市議会議員 堤 勝彦

11月2日から5日までの日程で、議長に同行し視察いたしましたのでご報告申し上げます。

初日は、香港までの移動で、22:00過ぎに到着。翌日、8:30にホテルを出発し、船にて中山市へ出発、12:00頃中山市内に到着。

昼食後、こちらでいう市議会にあたる、中山市人民代表大会を訪問。中山市側の出席者6名と通訳と事務方に加え、マスコミと思われる人たちが動画と写真で記録を残す姿が見られた。

唐穎中山市人民代表大会常務委員会常務副主任より心からの歓迎のご挨拶から始まり、孫文・梅屋庄吉を通じた両市市民のこれまでの関係や、これからますます交流が深まるようにスポーツを交えた交流がいいのではないか、などの意見が出され、和やかななかでの意見が交わされた。

その後、議場にて記念品の交換が行われ、出席者全員での記念写真の撮影で一旦終了した。

引き続き、役所から5分くらいのところに用意していただいた場所にて、会食を交えての意見交換会が開かれ、さらに友好を深めた。

3日目は、孫文の生誕地でもある孫文故居記念館を視察した。中国本土からのたくさんのお客さんで賑わっていて、修学旅行か社会科見学だろうか、たくさんの子どもたちが、資料やノートを持って学んでいた。

1つ気になったのが、たくさんの資料がある中、梅屋庄吉の姿が映っている写真が1つしか確認できなかったことだ。できればもっと多くの写真などの資料で、長崎との友好関係についてお披露目いただければ嬉しいのにと思った。

翌日の飛行機で帰国するため、この日のうちに中山港から香港に戻り、世界新三大夜景のひとつである香港の夜景をビクトリアピークから視察した。

若干ガスがかかっていたせいか、以前お邪魔した時よりも光が薄く見えたのは私だけだっただろうか。長崎の夜景も負けていないと強く感じた。

最終日は、朝から空港まで移動し出国、福岡に無事に到着できた…と思ったところ、飛行機に預けた荷物が飛行機から出ないという状況が発生し、空港内に2時間缶詰め状態となった。

最後に中山市唐穎人民代表大会常務委員会常務副主任はじめ関係者の皆様のおもてなしに心から感謝申し上げます、ご報告といたします。